

授業科目	看護と情報Ⅱ（情報の活用と伝達）	学年	2
		単位	1
時期	前期	時間	15
科目設定理由	研究成果を活用し看護実践に生かすには、信頼のあるデータを得る必要がある。そのためにはどのような意図や計画のもと研究された結果なのか理解しておく必要がある。また、看護においてはまだまだ明らかにされていない事象も多々ある。ささやかな疑問をもち、それを解決していくことで未来の看護に貢献するための基礎となる研究について学ぶ。		
目的	研究の意義と方法の基礎的知識を学ぶ		
目標	1.研究の流れを理解する 2.疑問を解決するための情報収集の方法を理解する 3.収集した情報を他者に伝えるための整理の仕方を理解する 4.得られた成果を伝達する方法を理解する 5.日常の中で疑問を持つ姿勢を養う		
評価方法	課題によるパフォーマンス評価		
使用テキスト	<系統看護学講座基礎分野>看護情報学：医学書院 <系統看護学講座基礎分野>看護研究：医学書院		
参考図書	看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方：照林社		

	主題・単元	授業のねらい	授業内容	授業方法	備考
1	情報処理	研究について理解する	研究倫理 研究の種類 研究計画	講義	
2		情報の収集方法を理解する	既存の情報の収集方法 質問紙調査によるデータ収集	講義	
3		文献検索の方法を理解する	文献検索	講義・演習	情報科学室
4	情報の伝達	情報の整理と伝達について理解する	文字情報の整理 資料作成 プレゼンテーション	講義・演習	情報科学室
5		PowerPointを用いたプレゼンテーションを理解する	スライドを使用した情報の発表とコミュニケーション	講義・演習	情報科学室
6	情報収集と伝達の実際	目的をもって情報を収集する	研究計画の作成と情報収集、文献検索	講義・演習	情報科学室
7		得た情報を整理する	情報の整理、論文作成	演習	情報科学室
8		プレゼンテーションを行う	プレゼンテーション	演習	情報科学室